

パフ

本時の目標

へ音譜表の読み方を覚えて、混声合唱を楽しもう。

【曲を聞いてみよう！】

教育芸術社 HP を参考にしてください。歌える人は歌ってみよう！

【空欄に当てはまる語句や記号を埋めよう】

作詞【① 】 **作曲**【② 】
拍子【③ 一 拍子】 **速度**【④ ♩ = 】

【使われている音楽記号】

音楽記号	読み方	意味	音楽記号	読み方	意味
<i>mf</i>	⑤	⑥		⑨	
	⑦	⑧		⑩	

【へ音譜表の読み方に慣れよう！】

⑪教科書の楽譜に階名（ドレミ）を書きましょう。ト音譜表とヘ音譜表で読み方が違うので、教科書p 18を参考に書いてください。授業で使います。

【声の出る仕組みについてまとめてみよう！】

⑫教科書p19【声の出るしくみと変声期】を読んで、自分の言葉でまとめましょう。

【歌ってみよう！】

以下のポイントを意識して、パフを歌ってみよう。

- ①ト音譜表、ハ音譜表をそれぞれ階名で歌ってみる。
②2分の2拍子を感じながら歌詞で歌ってみる。手拍子などがいれられたら Good！

【楽曲について】

「パフ」(原題:Puff,The Magic Dragon)は1963年にアメリカで発表されました。

歌ったのはアメリカで人気のフォークソンググループ「ピーター・ポール&マリー」。

歌詞は不老のドラゴン「パフ」と少年ジャッキー・ペーパーとの心温まる交流と悲しい別れを描いています。舞台となるのはおとぎ話の国 Honah Lee (ホナリー) の海。パフの名前はドラゴンの不思議な鳴き声に由来するそうです。先生も大好きな一曲で、物語を想像しながら聞いていると自然と温かい気持ちになって涙が出そうになります。

原曲に対して、編曲やカバー、日本語訳は複数存在していて、教科書に載っているものほかにはNHK「おかあさんといっしょ」で放送されたバージョンなどがあります。前任のだいすけお兄さんが歌っているのを聴いたことがある人もいるのではないのでしょうか。教科書に載っている日本語詞は物語を大分省略しているので、また感じ方が違いますね。別バージョンはYouTube等にいくつかUPされているので、参考にURLを載せておきますので、聞いてみてください。

別バージョンの日本語詞 (訳: 野上 彰)

パフ 魔法の竜が くらしてた 海に秋の霧たなびく ホナリー
リトルジャックペーパー 友達で なかよくいつでも ふざけてた

ボートをこいで 旅をつづけた 大きなしっぽに ジャッキーをのせて
王様達は あいさつをした 海賊達は はたをさげた

年を取らない 竜とはちがい ジャッキーはいつしか 大人になり
とうとうある日 あそびにこない さびしいパフは 涙をながす

みどりのうろこ ならして泣いた さくらの道を さんぽもせずに
友達はなく ひとりぼっち 頭をたれて ほこらへ帰る

パフ 魔法の竜が くらしてた 海に秋の霧たなびく ホナリー

※参考 URL

○ピーター・ポール&マリーの原曲 (Live)

<https://youtu.be/Vg2RcXC8KSk>